

2007年4月27日

## 新型通勤車両「30000系」

### 2008年春デビュー

新しい西武のシンボル車両「スマイルトレイン」を120両新造します。

西武鉄道（本社：埼玉県所沢市、社長：後藤高志）では、今年度から2011年度にかけて新型通勤車両「30000系」を120両製造し、2008年より順次、運転を開始いたします。

この車両は、経年の高い3ドア通勤車両の101系および301系の置き換えとして、今後の当社のシンボル車両として製造するもので、「Smile Train（スマイルトレイン）～人にやさしく、みんなの笑顔をつくりだす車両～」をコンセプトに、新生西武を象徴し、安全・安心でお客様に親しまれるやさしさなどを考慮に入れて設計いたしました。

また、当社では、今年度のスタートに合わせて、新しいシンボルマークとコーポレートカラーを制定し、お客さまとの親近感や信頼感を高めるとともに、「お客さまの行動と感動を創りだす」サービス事業の推進に努めており、今回その一環として、新型車両のデザインに新シンボルマークとコーポレートカラーを採用いたしました。

詳細は別紙のとおりです。



2008年運転予定の新型通勤車両「30000系」(イメージ)

## 【車両の概要について】

車両形式	30000系
車両愛称 (コンセプト)	Smile Train (スマイルトレイン) ～人にやさしく、みんなの笑顔をつくりだす車両～
製造両数	8両編成×12本 6両編成×3本 2両編成×3本 合計120両(18本) 2007年度は8両編成×3本製造
車体長・幅	車体長：20m 車体幅：2.93m
車体	アルミダブルスキン構体
竣工	2008年1月(予定) 営業運転開始時期は追ってお知らせします。

## 【車両の特徴について】

### 新生西武を象徴するデザイン

丸みのある外観に、新しいシンボルマークとコーポレートカラーを採用し、新鮮さが感じられるカラーリングにします。

「丸みを帯びたやさしさと温かみを感じられるデザイン」と「新生西武を象徴する車両」を表現するため、「生みたてのたまごのようなやさしく、やわらかなふくらみ」をイメージしたデザインにします。

- (1) 先頭の形状は、やわらかく「たまご状」にふくらんだ面でやさしさを表現。
- (2) 当社車両の特徴である「丸形の前照灯」と、これまでにない印象的な「細長の尾灯」と「スカート」により、微笑ましく親しみやすい“顔”をイメージ。

西武鉄道のコーポレートカラーをグラデーションにすることで、都市と自然あふれる街並みを結ぶ車両にふさわしいカラーリングにします。

### 安全・安心な車両

車体は強固なアルミダブルスキン構体として安全性を高めるほか、車両情報管理装置に信頼性の高いシステムを採用することで、故障発生による輸送障害を低減します。

また、貫通引戸は見通しの良い大型ガラスで安心感のある車内にします。

さらに、軽量化、省エネ化、リサイクル性の向上を考慮するとともに、騒音・振動を軽減することで環境に配慮します。

### お客さまに親しまれるやさしい車両

荷物棚や吊手高さの低下、優先席および出入口付近の明確化など、ユニバーサルデザインへの配慮と、全自動空調制御により快適な車内環境を提供します。  
また、床面高さを低くすることでホームとの段差を少なくします。

### 情報案内を充実

各ドアにLCD（液晶）表示器を2台取り付け、停車駅や駅設備、運行情報に加え、静止画・動画広告等を表示するなど情報案内がより充実します。

### 女性の視点による提案

車内を明るい色彩と丸みを帯びたやさしいデザインにし、吊手や握り棒を抗菌加工にすることで、やさしく清潔感のある車両にします。

以上

### （参考）

西武鉄道では、今年度のスタートに合わせて、西武グループのグループビジョンの実現に向けた企業としての経営姿勢をシンボリックに表現した新たなシンボルマークとコーポレートカラーを制定いたしました。当社では、現在、お客さまとの親近感や信頼感を高めるとともに、「お客さまの行動と感動を創りだす」サービス事業の推進に努めており、その一環として、新型車両のデザインに新シンボルマークとコーポレートカラーを採用いたしました。今後さらにサイン類や制服など、幅広く展開してまいります。



西武鉄道の新シンボルマーク